

対象：獣医師・動物看護師・病院スタッフ

犬の皮膚疾患治療のアップデートおよび プレバイオティクスの可能性

第1回 9月19日(日)13:30～15:30

- ・犬アトピー性皮膚炎の治療アップデート

講師 西藤 公司 先生 東京農工大学大学院農学研究院 動物生命科学部門 教授

- ・「腸」へのアプローチ アトピー性皮膚炎へ効果！？

プレバイオティクス「ケストース」とは何か？

講師 栃尾 巧 先生 物産フードサイエンス株式会社 研究開発センター
藤田医科大学消化器内科客員教授

第2回 10月3日(日)13:30～15:30

- ・犬表在性膿皮症の治療アップデート

講師 西藤 公司 先生 東京農工大学大学院農学研究院 動物生命科学部門 教授

- ・「皮膚」へのアプローチ殺菌ではなく静菌！？

プレバイオティクス「エリスリトール」を用いた皮膚常在菌制御

講師 栃尾 巧 先生 物産フードサイエンス株式会社 研究開発センター
藤田医科大学消化器内科客員教授

お申込みは下記のWeb申込フォームURLまたは、QRコードからお申込みください。

<https://ws.formzu.net/sfgen/S4224440/> (スマホ用)

<https://ws.formzu.net/dist/S4224440//>



参加費無料・定員500名・要登録

問合せ先 公益社団法人

千葉県獣医師会

〒260 - 0001 千葉市中央区都町6-2-15

TEL : 043-232-6980 FAX : 043-232-6986

協賛：TRUE LABO
アスパック企業株式会社



第一回
2021年

9月19日 日 13:30~15:30

第一部

犬アトピー性皮膚炎の治療アップデート

犬アトピー性皮膚炎は増悪と改善を繰り返し、掻痒を主徴とする慢性反復性の皮膚疾患である。本症の病態については、これまでは免疫異常ばかりがクローズアップされてきたが、近年では皮膚バリア機能異常や皮膚異常細菌叢などの関与も示唆されるようになった。また本症の治療についても、これまではステロイド薬やカルシニューリン阻害薬など免疫系を抑制する治療法が主体であったが、近年では分子標的薬が本症の治療において主流となってきた。本講演では近年明らかになりつつある、犬アトピー性皮膚炎の病態と治療に関するアップデートについて解説する。

第二部

「腸」へのアプローチ

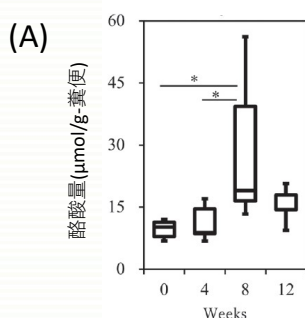
アトピー性皮膚炎へ効果！？プレバイオティクス

「ケストース」とは何か？

近年、腸内細菌や皮膚常在菌などの生体内常在菌をコントロールする素材であるプロバイオティクス/プレバイオティクスの効果が非常に注目されており、ヒトアトピー性皮膚炎(Atopic Dermatitis、AD)の改善効果は論文で報告されている。一方で、獣医学分野での皮膚疾患におけるプロバイオティクス/プレバイオティクスの改善効果を調べた例はほとんど存在しない。

我々は、犬の皮膚疾患改善のためのプロバイオティクス/プレバイオティクスを用いた補完療法的アプローチの確立のため、「腸」と「皮膚」という2つのフォーカスポイントを定め研究を行っている。

本セミナーでは、まずは「腸」からのアプローチとして、ヒトのアトピー性皮膚炎にて改善効果が報告されている「ケストース」という3糖プレバイオティクスを事例とし、その作用メカニズムを紹介しつつ、CADへの効果の事例を紹介する。



(B)



ケストースによる酪酸生産量の増加(A)およびCADの改善効果(B)

製品に関するお取り扱い/お問い合わせ

TRUE LABO(アスパック企業株式会社)

〒104-0044 東京都中央区明石町11-15 ミキジ明石町ビル

TEL: 03-6278-8490 / FAX: 03-3549-7277

E-mail: info@truenatural.jp

TRUE LABO ケストース

検索

KG ケージータブレット
Tablet

第一部

犬表在性膿皮症の治療アップデート

犬表在性膿皮症は、ブドウ球菌が表皮で増殖することにより生じる皮膚細菌感染症である。本症に罹患した症例の病変部からは、*Staphylococcus pseudintermedius*または*S. schleiferi*が頻繁に分離される。本症の治療では全身性抗菌薬が汎用されてきたが、近年では世界的な薬剤耐性菌の増加により治療概念の変換が求められている。本講演では抗菌薬を用いない犬表在性膿皮症の治療アプローチと有用性について、既知の成果と研究中的成果の両面から解説する。

第二部

「皮膚」へのアプローチ

殺菌ではなく静菌！？ プレバイオティクス「エリスリトール」を用いた皮膚常在菌制御

前回のセミナーにおいて、犬の皮膚疾患改善のためのプロバイオティクス/プレバイオティクスを用いた補完療法的アプローチとして、「腸」と「皮膚」という2つのフォーカスポイントを上げ、ケストースというプレバイオティクスを用いた「腸」をターゲットとしたアトピー性皮膚炎の改善メカニズムを紹介し、CADの改善事例を示した。

今回のセミナーでは、エリスリトールというプレバイオティクスを事例とし、犬の皮膚疾患の原因菌である *Staphylococcus pseudintermedius* をはじめとした常在菌に対する静菌作用を紹介するとともに、エリスリトールを配合した皮膚外用剤を用いた犬のCAD、膿皮症に関する介入試験の事例に関し紹介する。



ERT外用剤塗布前



塗布継続2週間後

参考文献

- Endo et al. Variations in prebiotic oligosaccharide fermentation by intestinal lactic acid bacteria. *Int J Food Sci Nutr.* 2016; 67(2): 125-132.
- Ose et al. The ability of human intestinal anaerobes to metabolize different oligosaccharides: Novel means for microbiota modulation?. *Anaerobe.* 2018; 51: 110-119
- Endo et al. Impact of kestose supplementation on the healthy adult microbiota in in vitro fecal batch cultures. *Anaerobe.* 2019; 61: 102076
- Tanno et al. Characterization of fructooligosaccharide-degrading enzymes in human commensal *Bifidobacterium longum* and *Anaerostipes caccae*. *Biochem Biophys Res Commun.* 2019; 518(2): 294-298
- 阿部 et al. 犬の腸活始めませんか？～ケストース配合製品「犬用5種の国産野菜ふりかけ」という選択～. *CAP.* 2019; 3: 97-100
- Watanabe et al. Experimental Determination of the Threshold Dose for Bifidogenic Activity of Dietary 1-Kestose in Rats. *Foods.* 2020; 9(1): 4
- Shinohara et al. Activation of butyrate-producing bacteria as well as bifidobacteria in the cat intestinal microbiota by the administration of 1-kestose, the smallest component of fructo-oligosaccharide. *J Vet Med Sci.* 2020; 82(7): 866-874
- Ide et al. Kestose supplementation exerts bifidogenic effect within fecal microbiota and increases fecal butyrate concentration in dogs. *J Vet Med Sci.* 2020; 82(1): 1-8
- Tochio et al. Changes in the Intestinal Microbiota and Systemic Immune Responses by Dietary 1-Kestose Supplementation in Healthy Dogs. *Int J Biol Macromol.* 2021; 16: 7-15
- Tanno et al. Characterization of fructooligosaccharide metabolism and fructooligosaccharide degrading enzymes in human commensal butyrate producers. *Gut Microbes.* 2021; 13(1): 1-20
- 牧田 et al. 犬アトピー性皮膚炎に対するケストースの効果. *月刊CAP.* 2021; 1: 93-96
- 川野 et al. 犬アトピー性皮膚炎における新たな臨床的アプローチの提言. 総合情報誌 *mVm.* 2021; 30(197): 1-6
- 伊従 et al. 犬の表在性膿皮症における薬剤耐性菌問題の解決へ向けた新たな治療法の提案. *月刊CAP.* 2021; 6: 2-6

製品に関するお取り扱い/お問い合わせ

TRUE LABO(アスパック企業株式会社)

〒104-0044 東京都中央区明石町11-15 ミキジ明石町ビル

TEL: 03-6278-8490 / FAX: 03-3549-7277

E-mail: info@truenatural.jp

TRUE LABO ケストース

検索

KG ケージータブレット
Tablet